

奈良 采女祭

うねめまつり

中秋の名月の夜
千年の恋が蘇る



写真はイメージです。

令和8年

9月24日(木)

宵宮祭 17時～(采女神社)

行列に参加いただく

お稚児さん募集

受付期間：8月3日～9月7日まで
受付場所：奈良市観光協会事務局



アクセス

場所／采女神社(猿沢池畔)
近鉄奈良駅より徒歩約5分
JR奈良駅より徒歩約15分
※会場へのお越しは、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

主催／采女祭保存会(奈良市観光協会内)
TEL.0742-30-0230 平日9:00～17:00



9月25日(金)

花扇奉納行列 17時～(JR奈良駅～采女神社)

JR奈良駅(17時出発)→三条通り→東向商店街→大宮通り→
小西さくら通り商店街→城戸通り→餅飯殿センター街→采女神社(18時頃到着)

例祭(花扇奉納神事) 18時～(采女神社)

花扇奉納神事終了後に公演

特別公演

篠笛奉納演奏「采女おとがたり」

(篠笛奏者) 佐藤和哉

(猿沢池)



管絃船の儀 19時過ぎ～(猿沢池)

春日大社末社 采女神社 〈猿沢池畔〉

うねめまつり 采女祭ってなに？

猿沢池の西北の隅に鳥居を背にした珍しい後ろ向きの神社が采女神社です。

「大和物語」により「奈良時代に帝に仕えていた采女（後宮で帝の給仕をする女官の職名）が、帝のご寵愛が衰えたのを嘆いて猿沢池の池畔の柳に衣を掛け、入水したので、その霊を慰めるために社を建てた。しかし、采女は我が身を投じた池を見るにしのびないと一夜のうちに社を後ろ向きにした。」と伝えられています。

午後5時からの「花扇奉納行列」では、秋の草花で美しく飾られた2m余りの花扇を載せた車を中心に、御所車に乗った十二単姿の花扇使、数十人の稚児やNARA CITY コンシェルジュ、姉妹都市福島県郡山市から参加いただいているミスうねめなど、天平衣装をまとった総勢約200名が市内を練り歩きます。

午後6時から采女神社において、春日大社神職による厳かな例祭（花扇奉納神事）が行われます。

午後7時に南都楽所の奏する雅楽が流れるなか、2隻の管絃船（龍頭・鶴首）が猿沢池を巡る「管絃船の儀」が行われ、最後には花扇を池中に投じて采女の霊を鎮め同時に人々の幸せを祈る雅やかな行事です。



花扇奉納行列

動画で見る！

采女祭
采女伝説



行列に参加いただく

お稚児さん募集

3歳～
小学3年生
対象

参加日時 9月25日(金)
16:30~18:00

参加料 7,000円

募集期間 8月3日から9月7日まで

募集受付 奈良市観光協会事務局
奈良市三条本町8-1 シルクシア奈良2F
●受付は、平日9:00~17:00

お問合せは、事務局 (0742-30-0230) まで



コラボ企画

お月見スイーツ × 采女祭

開催期間：9月19日(土)~25日(金)

参加店で企画対象のお月見スイーツを含め
1,000円以上ご購入いただくと、采女祭オリジナル絵馬が
もらえます！(先着600枚限定)



詳細は
こちら

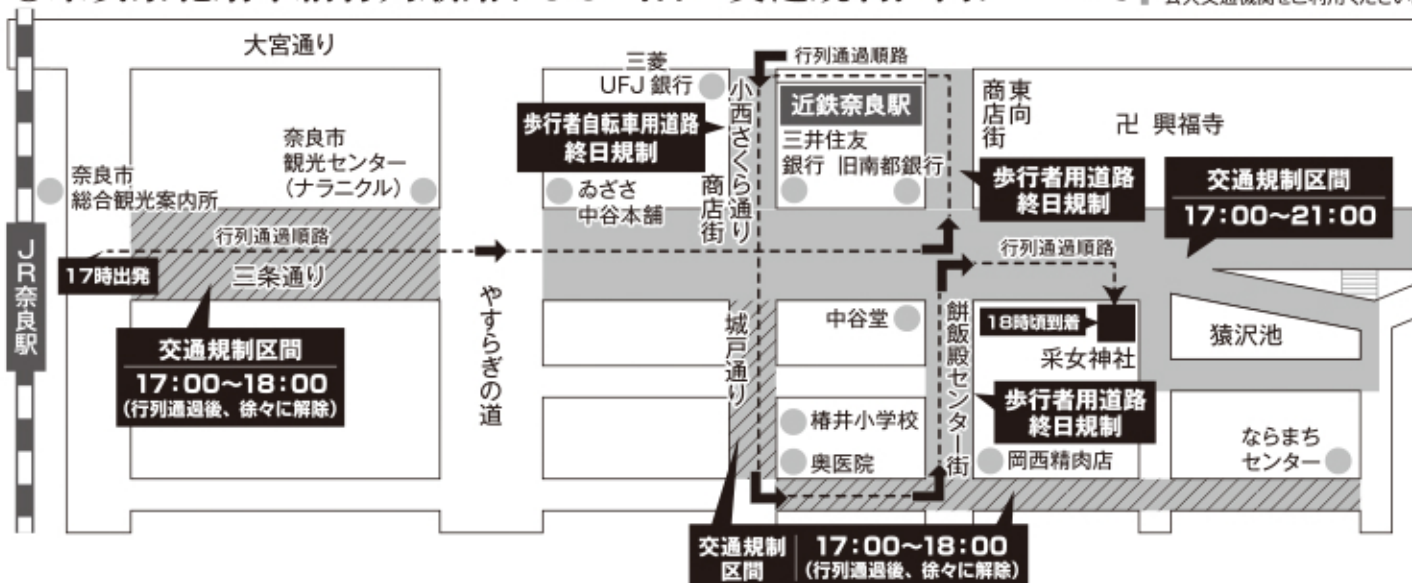
采女祭
オリジナル
絵馬



9月上旬頃予定

◎采女祭花扇奉納行列順路および当日の交通規制区間について

会場へのお越しは、公共交通機関をご利用ください。



雨天時について

当日の天候状況により、行事内容が縮小または一部中止になる場合があります。その場合は、奈良市観光協会公式ホームページにて当日の13時頃にお知らせいたします。

采女祭を未来に伝承

奈良公園観光地域活性化基金 ご寄付のお願い



寄付金控除が
受けられます！

静かな町家のあかりと、展示のやわらかな光。そっと写真におさめたくなる、ならまちの夜へ。

9/25 中秋の夜、ならまちの灯り

施設連携：夜間特別開館 ~午後8時半まで

入館無料

- 奈良町にぎわいの家
- ならまち格子の家
- 奈良町南観光案内所

